

No Talk, All Action. Launch a Startup in 54 hours.

週末の **54 時間** に出現する幻のシリコンバレー

Startup Weekend Fukuoka

6/13 (Fri) 18:30 – 6/15 (Sun) 21:00

参加申込み: <http://swfukuoka.doorkeeper.jp/events/10024>



会場: 西南学院大学 東キャンパス 西南クロスプラザ レセプションホール

参加費: 7食付き

一般(社会人学生含む) 前払い 7,500円 当日会場払い 8,500円

学生 前払い 5,000円 当日会場払い 6,000円

定員: 一般50名 学生50名

後援: 西南学院大学、九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップセンター (QREC)

JOYSOUND トーマツベンチャーサポート株式会社 and more...



西南学院大学  QREC

JOYSOUND

 Google
for Entrepreneurs

 .co
Create Your Opportunity™

 Coca-Cola

 amazon
web services

公式 HP : <http://fukuoka.startupweekend.org/>

Facebook : <https://www.facebook.com/swfukuoka>

新しいチャレンジを 54 時間で形にする！ここでしかできない貴重な体験！！

Startup Weekend とは？

週末 54 時間の起業家体験イベント。世界 556 都市にて 1,000 回以上開催されており、世界最大級の起業家精神を持った人々のコミュニティ。

自分のアイデアを Pitch し、投票でリーダーを絞り、即興でチームを構築し、市場調査を基にプロダクトを開発し、最後に審査員の前でプレゼンしたら、54 時間なんてあっという間に過ぎていきます。

Judges

審査員

早嶋 聡史

株式会社ビズ・ナビ & カンパニー 代表取締役社長

徳田 和嘉子

株式会社 CROSS FM 代表取締役社長

and To Be Announced

Coaches

コーチ

岸原 稔泰

株式会社ディー・ブレイン九州 代表取締役パートナー

杉本 将隆

デトロイトトーマツコンサルティング株式会社 マネージャー

北地 達明

公認会計士 / 監査法人トーマツ 開発部門代表社員

田中 克憲

三菱地所 株式会社 次長 / 日本創生ビレッジ発案者

石元 玲

日本プライベートエクイティ株式会社 九州管轄ディレクター

高橋 政俊

株式会社 九州インターメディア研究所 プロデューサー

松尾 龍馬

株式会社 リーボ 代表取締役 CEO

林 龍平

株式会社 ドーガン 取締役副社長

Schedule

スケジュール

■時間管理の目安

～金曜日～

最初は腹ごしらえと懇親会！“SW からは人を得よう！！”

7:30pm Startup Weekend Keynote & Fun

8:30pm ピッチと投票でチーム作り

【ピッチは 60sec, 音楽がなったら残り 10 秒】

【3 日間一緒にやりたいチームに投票しましょう】

9:30pm チーム作業開始 ****10:00pm 撤収

【role 分担、MVP#1 の設計】

～土曜日～

9:00am 朝食 1 時間 + 告知 “スタートアップ本格始動！”

10:00am MVP ver1 で顧客開発開始

【1 時間弱くらいで MVP ver1 を完成しましょう】

【顧客インタビュー & MVP のテストでまた 1 時間】

12:00pm ランチ “SW のランチは是非ソーシャルに！”

1:00pm 顧客開発再開、午前作業結果分析

2:00pm コーチ陣が到着。コーチのテーブルオープン。

6:00pm 夕食。“今からはフォーカスと実装のみに！”

8:00pm 中間点検

～日曜日～

9:00am 朝食 & 運営側からの案内 “チーム作業再開”

12:00pm ランチ “プレゼン練習とデモ準備開始”

5:00pm 最終プレゼン 【5 分発表, 5 分 Q&A】

最後は Party & 真の学び！“やってみてこそ気づくもの”

スケジュールは変更になる場合がありますのであらかじめご了承下さい。

Access

アクセス



学生の皆様へ

社会人参加者と共に実践的イベントで経験する企画・開発・マーケティング・マネジメント・プレゼン等の全てが就活の武器になってくれます。さらに第一線で活躍中の審査員・コーチから学ぶ事のできる環境がここにはあります！

起業を目指す方、就職を目指す方、開発に興味のある方、デザインに興味のある方、参加者は様々です。

そんな参加者がチームとして一つのビジネスを形にする！

そんな貴重な時間を経験した時、あなたの履歴書の魅力も変わっているかも！？